



「信仰」「宗教」は心の問題と考える人が多い。確かにそうだ。しかし、心の問題なら物は思いようで、何でも良いというようなものではない。ところで、貴方はいつ、どこで、どのように誕生したかご存じだろうか。医者ルカは「綿密に調べています」のでと断り、キリストの降誕を次のように記録している。

「全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストゥスから出た。これは、キリニウスがシリアの総督であったときの、最初の住民登録であった。人々はみな登録のために、それぞれ自分の町に帰って行った。ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身重になっていた、いいなずけの妻マリアとともに登録するためであった。ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。」

しかも、これはたまたま皇帝アウグストが出した住民登録のためにしかたなく100 km以上も旅し、ベツレヘムで起こってしまったが、このキリストの誕生は「キリストはダビデの家系から、ダビデの町ベツレヘムで誕生する」との700年以上も前の旧約聖書のことばと合致しており、預言されていたのだ。

このキリストの誕生を喜ぶ「クリスマス」はキリストの十字架の死と復活を祝う「イースター」と共に信じる者の救いの保証となっている。これこそ、あなたの知ってほしいクリスマスの耳寄り情報です。